



日本学術会議主催学術フォーラム 「データと発見—Data Intensive Scientific Discovery」

日時:平成24年9月10日(月) 13:00~18:00

場所:日本学術会議講堂 定員:先着 300名

開催趣旨

第4のパラダイムとして提案されているデータ科学の時代におけるデータリテラシー、情報環境、価値創出についての現状について、講演とポスター発表を行い、パネル討論を通して科学技術データと社会との適正な関係についての課題と展望を明らかにする。

次第 (予定)

- 13:00~13:05** 開会挨拶
春日文子 (日本学術会議副会長)
- 13:05~13:10** 企画のねらい
岩田 修一 (日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授)
- 13:10~14:05** 特別講演(1) 「データの時代」
Tony Hey (マイクロソフトリサーチ 産学連携担当副社長)
特別講演(2) 「ビッグデータ」
喜連川 優 (日本学術会議会員、東京大学生産技術研究所教授)
- 14:05~14:45** セッションⅠ データと社会
「空間データと発見：小学生の日常活動調査から」
原田 豊 (科学警察研究所犯罪行動科学部長)
- 14:45~15:00** 休憩
- 15:00~17:00** セッションⅡ データと学術
「ヒッグス粒子の発見と大規模データ処理」
坂本 宏 (東京大学素粒子物理国際研究センター教授)
「単一生細胞物理化学データによる生命環境の統計的定量評価」
浜口 宏夫 (台湾国立交通大学理学院講座教授)
「生命科学におけるゲノム研究の最前線とビッグデータ問題」
五條堀 孝 (日本学術会議連携会員、国立遺伝学研究所教授)
池尾 一穂 (国立遺伝学研究所准教授)
「放射線が拓く植物活動の謎の発見」
中西 友子 (東京大学大学院農学系研究科教授)
「長期歴史データと発見」
鈴木 董 (東京大学名誉教授)
- 17:00~18:00** 総括討論 司会：岩田修一 (日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授)

日本学術会議案内図



申込先:日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当
〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL:03-3403-6295 FAX:03-3403-1260

申込みフォーム: <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>